

横浜市議員

は せ が わ

長谷川 えつこ



はせがわ えつこ Profile

経歴
 日本大学 経済学部 卒業
 野村証券株式会社
 フルデンシャル生命保険
 株式会社 E-link 代表取締役
 資格
 宅地建物取引士、秘書検定
 証券外務員2級、1級小型船舶免許

2児の母&2匹のママ
 息子(中学生・バスケ部)
 娘(小学生・スイミング)
 犬(柴犬)、猫(元ノラ猫)
 趣味
 ゴルフ、ZUMBA、サルサ、
 バレーボール部(高校時代)
 特技: お弁当作り!

レッツゴー 長谷川通信

2022年 4・5月号 市政活動報告 vol.15

令和4年 第1回定例会活動報告

予算第二特別委員会にて、下記の質問をいたしました

【3/3 消防局関係】

- 1 コロナ禍での救急搬送状況
- 2 特別高度救助部隊(SR)の派遣実績
- 3 老朽化した消防水槽の維持管理
- 4 火災調査結果の活用
- 5 女性消防吏員の活用と活動
- 6 消防音楽隊の活用と活動
- 7 その他

2/24 特殊高度救助部隊(SR)視察



(2022年2月24日 SR視察)



消防局にて質問をするにあたり、中消防署本牧和田消防出張所に、消防局特別高度救助部隊「スーパーレンジャー(通称 SR)」の視察をいたしました。

SRは大規模災害や特殊災害等における救助活動等を任務とし、消防局員約3,400人から選抜された特別な技術・能力を有する59名の特別高度救助隊員で構成されています。特別高度救助部隊は政令指定都市に設置が義務付けられており、国の予算も投入され特殊な車両や機材を装備していますが、修理や劣化などに伴うランニングコストは横浜市の負担です。横浜市は厳しい財政状況にありますが、しっかりと精査し、予算を確保できるように取り組みます。

3/1 消防科学研究室へ視察



(2022年3月1日 消防科学研究室視察)

横浜市工業技術支援センターにある「消防科学研究室」へ視察をいたしました。

最新の分析機器で出火原因を究明し、その調査結果を活用した予防施策を展開しています。複数の実例をもとに原因究明の説明を受け、火災発生防止に反映させることが確認できました。身近な事例で言いますと、モバイルバッテリー等の発火や、ワット数を超える電気の使用で起こる火災等が多いようです。

各ご家庭で身近に使用しているものなので、もう一度安全点検を行っていただきたいと思ひます。

【3/3 総務局・デジタル統括本部関係】

- 1 職員の心のケア
- 2 外郭団体の経営向上
- 3 市史資料の保存と活用
- 4 DX推進に向けた外部人材の活用
- 5 区役所庁舎内無線LANの整備
- 6 WEB会議環境の整備
- 7 行政手続きのオンライン化
- 8 その他